

シーニックバイウェイ北海道

平成 26 年度 ルート運営活動報告

・代表事例

Scenic Byway Hokkaido 2014

平成 27 年 6 月 30 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会



【目 次】

支笏洞爺ニセコルート

大雪・富良野ルート

東オホーツクシーニックバイウェイ

宗谷シーニックバイウェイ

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

函館・大沼・噴火湾ルート

萌える天北オロロンルート

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ 南十勝雄大空間

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

支笏洞爺ニセコルート

活動名:『千歳ウェルカム花ロードver.12』

- 【概要】 千歳ウェルカム花ロードは、年間約1900万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する動として、空港周辺に23万株の花を植えた。
- 【日時】 札幌駅前通地下歩行空間PR展示:平成26年5月20日～26日、花ロード特別授業(緑小学校、千歳小学校)・花植え:5月27日、7月5日(千歳小学校)、除草:6月30日、7月25日
- 【場所】 千歳市(JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか)
- 【主催】 千歳ウェルカム花ロード実行委員会植栽650名、授業120名、除草230名
- 【参加人数】 植栽600名、授業120名、除草140名



活動名:『シーニックナイト2015』

- 【概要】 シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ活動。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。
- 【日時】 毎年1月下旬から2月下旬まで
- 【場所】 支笏洞爺ニセコルート(ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内)
- 【主催】 シーニックナイト実行委員会



大雪・富良野ルート

活動名：『人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト』

- 【概要】 北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を、シーニック4ルートと北海道ガーデン街道協議会、地域が一体となって、上川～十勝間の幹線道路の沿道に植樹し、道路交通環境の向上を図るとともに、訪れる人々に地域の要所、景観の優れた箇所、並木、花壇や庭園を案内し、おもてなしを行う取り組み。新たな場所への植樹及び昨年度までに植樹した樹木の維持管理調査などを行った。
- 【日時】 全体会議：H26.4月、11月、植樹：H26.6月、維持管理調査会：H26.10月
- 【場所】 全体会議：旭川市、帯広市、植樹（旭川、美瑛、上富良野、富良野 等）会議：札幌市、鹿追町、上川町、上富良野町、食フェア：札幌市
- 【主催】 大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道
- 【参加人数】 全体会議約30名、植樹・維持管理調査会：20人



植樹風景（中富良野町）



維持管理調査会

活動名：『ウィンターサーカスの開催』

- 【概要】 第10回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を、ルート内6会場・高速道路会場1会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行った。また、旭川駅と札幌駅発着のバスツアーなどを実施した。
- 【日時】 2月14日～15日 17:00～20:00
- 【場所】 旭川市西神楽、東神楽町、美瑛町、上富良野町（2会場）、占冠村、道央道砂川SA
- 【主催】 シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会
- 【参加人数】 約3,000人



見晴台公園会場（上富良野町）



深山峠会場（上富良野町）



西神楽会場（旭川市）

【撮影】大雪・富良野ルート 菊地 晴夫

東オホーツクシーニックバイウェイ

活動名:『「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里、美幌』

- 【概要】 通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所(道の駅3箇所、スーパー駐車場)にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催した。併せて東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。
- 【日時】 9月14日(日)、9月27日(土)、9月28日(日)
- 【場所】 道の駅流水街道網走、道の駅うとろ・シリエトク、道の駅パパスランドさつる、コープさっぽろ美幌店駐車場
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、ウトロ、清里

(パネル展示の様子)

活動名:『ガードレールの雪かきボランティア』

- 【概要】 冬の流水景観はかけがえのない資源。しかし除雪の雪壁で車窓からは見えないので、除雪しよう！ということで斜里町ウトロでは、ボランティアによるガードレール除雪を実施した。(H19から毎年実施している。)
- 【日時】 平成27年2月7日、24日
- 【場所】 国道334号オシンコシンの滝～幌別橋付近の景観ポイント3～4箇所
- 【主催】 しれとこ・ウトロフォーラム21、ウトロ自治会、知床斜里町観光協会ウトロ部会、網走開発建設部、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【参加人数】 160人(2月7日、24日合計)

除雪中



除雪後



宗谷シーニックバイウェイ

活動名：『稚内空港線植樹帯維持活動』

- 【概要】 稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いし、参加団体は昨年22団体に対し本年は25団体に増加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成26年6月8日(土)
- 【場所】 道道稚内空港線(稚内空港前)
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【参加人数】 約180名(主催者側 約20名、一般参加 約150名)



活動名：『彩北わっキャナイト2015』

- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る活動。12年目となる当イベントは、昨年同様、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、稚内青年会議所主催の『みなみなまつり』との同一会場での開催した。今年は北防波堤ドームのコンクリート壁に稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出され
- 【日時】 平成26年2月8日(土) 13:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【参加人数】 準備約80名(主催者側約10名、他協力約70名)、来場者約1,500名(一般参加)



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

活動名:『道東エンジョイマップの作成と配布』

【概要】 地域情報面を釧路湿原・阿寒・摩周SBWが担当し、注意喚起のためのヒヤリハットマップ面を釧路開発建設部が担当して、協働で作成した道東エンジョイマップを道の駅や空港、レンタカー会社などで配布した。外国人観光客のレンタカー利用の増加もあり、現在は、英語版、繁体字版も作成している。

【配布状況】 平成26年度は夏期、秋期、冬期で3回発行(合計で約2万部発行)

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(情報広報部会)、釧路開発建設部



夏期版の道東エンジョイマップ(日本語版)

冬期版道東エンジョイマップ(左:英語版、右:繁体字版)

活動名:『そらの森 植樹会・ルートオリジナルグッズの販売』

【概要】 そらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットの森づくりを行った。また、継続的な森づくりには維持、管理の経費も必要となることから、タンブラーなどのルートオリジナルグッズの販売を行い、売上金の一部をそらの森の苗木代、維持管理費として活用している。

【日時】 平成26年10月25日 9時～14時

【場所】 そらの森(弟子屈町飛行場跡地:一般国道241号沿い)

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト)

【参加人数】 約70名



函館・大沼・噴火湾ルート

活動名：『シーニック清掃活動』

【概要】 平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、地域住民や観光客が集う場所で、おもてなしの心で清掃活動を実施。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。

【日時】 4月29日(祝)

【場所】 五稜郭タワー、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通り

【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【参加人数】 主催者:110名、一般参加:10名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺

活動名：『はこだて花かいどう』

【概要】 今年で11年の節目となるルート連携活動。6月の植栽前には、雑草とりやマルチシートの敷設などの準備から始まり、6月の植栽、7月～9月の月1回の花がら摘みや水やりなどの維持活動、10月の撤去活動、2月のシーニックdeナイトまでの年間を通した活動を実施している。

【日時】 平成26年6月14日(土)

【場所】 函館新道

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 主催者:約800名 一般参加:約100名



萌える天北オロロンルート

活動名:『ひらめ底建網オーナープロジェクト』

- 【概要】 遠別漁協、遠別産業振興公社、そして留萌市のエフエムもえるが協力して、遠別の特産であるヒラメを全国に発信し、ブランド力を高めるためにオーナー制度を実施。オーナーは、漁イベント当日に揚げたヒラメや雑魚を山分けする。萌える天北オロロンルートとして、地域物産品の販売やシーニックパネル展と運営補助を行った。
- 【日時】 平成26年6月21日(土)
- 【場所】 遠別漁港
- 【主催】 ひらめ底建網オーナーin遠別実行委員会
- 【参加人数】 約800人



遊漁船によるオーナーの見学



ヒラメや雑魚を山分け



地域物産品の販売



パネル展の様子

活動名:情報受発信プロジェクト～「萌か留た」～

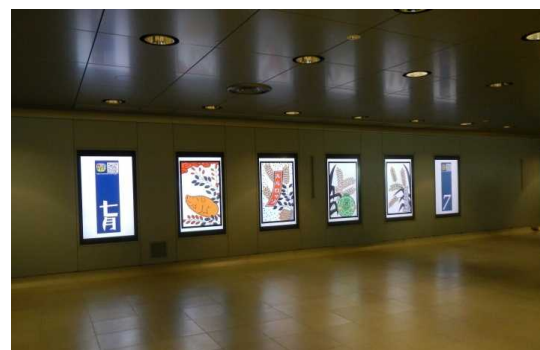
- 【概要】 今年で2年目となる本取り組みは、管内の連続性を認識されるとともに、周遊観光や再訪意欲を高めることを目的に、管内の9市町村の地域資源を「花鳥風月」のテーマで収集し、「萌か留た」を作成した。地元紙に取り上げられたほか、地元の信用金庫の店舗内でパネル展を開催。さらには、札幌市の地下歩行空間に設置されているデジタルサイネージにて放映するなど、徐々に取り組みの規模が大きく展開してきている
- 【日時】 平成26年10月1日～平成27年3月末
- 【配布場所】 道の駅等
- 【主催】 萌える天北オロロンルート(地域情報受発信システム実行委員会)



「萌か留た」平成26年度版



実施概要



チカホでの上映の様子

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

活動名:『シーニックカフェスタンプラリー』

【概要】 訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的に今年度初めてルート独自で

【日時】 平成26年5月10日～平成26年10月31日

【参加施設】 十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ11カ所

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

【応募人数】 52名(十勝管内:17名、十勝管外:25名、北海道外:10名)

サイズ:見開きA4(観音折り)

(表)



(裏)



シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
土幌高原ヌブカの里	土幌町
三国峠茶屋	上土幌町
ナイツ高原牧場レストハウス	上土幌町
カントリーパバ	鹿追町
美曼亭	清水町
カフェダイニング サルビア	清水町
ドライブイン・民宿クマゲラ	足寄町
レストランあしよ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono	陸別町

活動名:大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業

【概要】 北海道の屋根として認知度の高い「大雪山」を中心として広域の観光ブランドを創出し、周遊約350kmにおよぶ大雪山周遊観光を提案することで集客を図り大雪山周辺の地域活性化につなげていく。地域のPRを行うため、ホテルオークラ札幌と連携し、ホテル内のレストランにて地域食材を活用した特別メニューを提供する『大雪ぐるっとグルメフェア』を開催した。また、大雪山の景観や食などの魅力を十分に体感できる2泊3

【日時】 平成26年4～平成27年3月

【場所】 大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート及び上川町のエリア内

【主催】 大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業検討会

【モニターツアー募集】
女性向けフリーパ - 「オトナ」

【エリア】



【大雪ぐるっとグルメフェア】



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

活動名:『とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業』

- 【概要】 今年度で5年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット」(1,400円)を販売した。道内70か所に販売箇所を拡大し、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページを作成し、積極的にPRを行った。また、対応施設エリアを十勝全域に拡大した結果、旅行エージェントの旅行商品に組み込まれるなど販売促進につながり、販売枚数も昨年度の約2倍となった。
- 【日時】 平成26年4月26日(土)～10月13日(祝) 販売期間 平成26年4月21日(月)～10月13日(祝)
- 【場所】 十勝シーニックバイウェイエリア
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
- 【参加人数】 3,952枚(利用率90.2%)

チラシ(表)



(裏)



●チケット概要

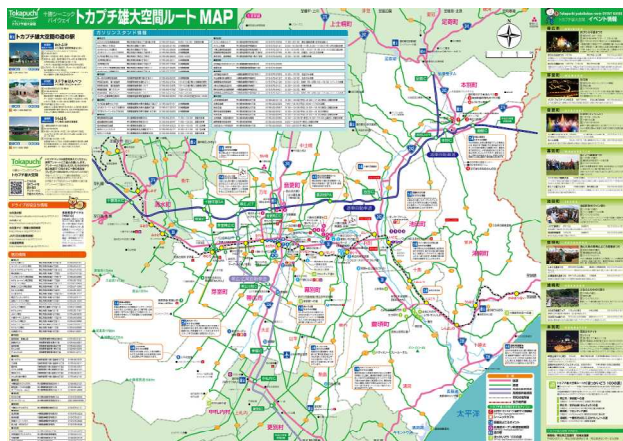
ガーデン施設入園・スイーツ引替・温泉日帰り入浴が選べる共通チケット3枚 + ばんえい十勝無料クーポンがついたお得なチケット。

●チケット対応施設

- 【ばんえい競馬】 ばんえい十勝(帯広競馬場)
- 【ガーデン施設】 十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン
- 【スイーツ施設】 道の駅ステラ ほんべつ・十勝まきばの家・ふるさといけだ(池田ワイン城内)・とがち物産センター・十勝トッポ工房・和食と焼き肉すず喜・国民宿舎新嵐山荘・NEEDS・岡本農園・十勝野フロマージュ・道の駅さらべつピボバ・大森カントリーガーデン・手創り菓子工房いまむら
- 【温泉施設】 糠平館観光ホテル・然別湖畔温泉ホテル風水・十勝川温泉(笹井ホテル・観月苑・ホテル大平原・第一ホテル)・晩成温泉
- 【その他施設】 カントリーホーム風景・大草原の小さな家・焼肉KAGURA、とがちむら産直市場、北の屋台、猫カフェWish、八千代牧場カウベルハウス

活動名:『トカプチマップ事業』

- 【概要】 昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は更なる魅力発信のため、名称のみを記載していた「おすすめ景観」箇所に写真を掲載した。
- 【日時】 平成27年3月
- 【配布箇所】 配布箇所: ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、札幌市内など
- 【印刷部数】 20,000部 サイズ: B1(折りたたんでB5)
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間



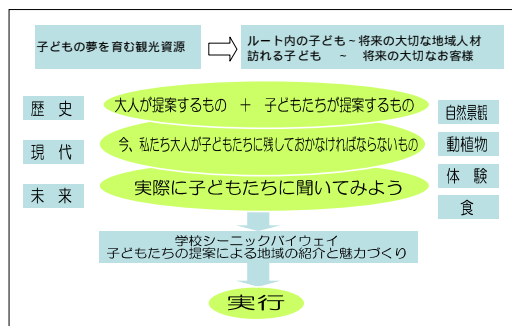
十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

活動名:『学校シーニックバイウェイ』

- 【概要】 学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的としている。ルート内市町村の小学校に、地域の魅力に関するアンケートを実施するなど、授業やアンケート調査を通して地域の人材育成に努めた。
- 【日時】 平成26年10月6日(月)～平成27年3月31日(火)
- 【場所】 授業:中札内小学校、アンケート:中札内小学校、忠類小学校
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
- 【参加人数】 小学校2校



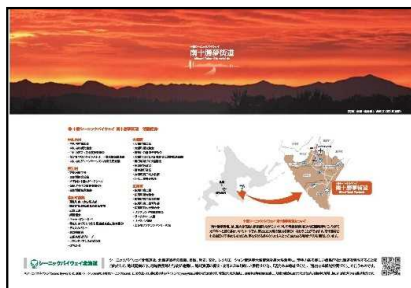
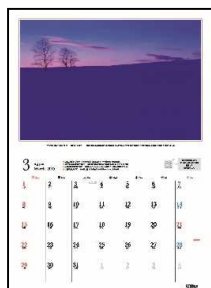
学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

活動名:『フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成』

- 【概要】 フォトコンテストの開催およびコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成し、販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。今年度は高校への募集など更なる周知を行った結果、過去最多の応募があった。また、今年度はサイズ(B3二つ折り→A3二つ折り)などデザインを変更したところとても好評であった。
- 【日時】 作品募集:平成26年6月20日～9月30日、カレンダー販売:平成26年11月～平成27年1月
- 【場所】 撮影:南十勝夢街道エリア、販売:南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
- 【参加人数】 フォトコン応募:306点 カレンダー:1,500部作成



2015年カレンダー(左:表紙、中央:カレンダー、右:裏表紙)



フォトコンテスト募集チラシ

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

活動名：『南区活動団体・地域の花めぐりバスツアー（花いっぱい運動）』

- 【概要】 花植え活動（花いっぱい運動）は、ルートでシーニックの動きが始まった時から続けている、地域内の美化緑化、沿道の景観向上に関する取り組みである。南区全体が「花」によって、より良い景観づくり寄与することを目的に、区内の活動箇所を見学・学習するツアーを実施し課題・問題点の共有、工夫点等の情報交換などを行った。
- 【日時】 平成26年7月11日（金）8:50（集合）～17:00（解散）
- 【場所】 南区内全12箇所を見学
- 【主催】 ルート運営代表者会議
- 【参加人数】 60名（参加者40名、現地説明・参加者20名）



活動名：『ルートの魅力を伝える地域資源の発掘＆PR媒体の作成ワークショップ』

- 【概要】 当ルート・地域の特徴をまとめ周知するための広報媒体（パンフ）としては、「花めぐり」「歴史文化」「体験」の3種類があるが、誰にでも手にとってもらいやすく、見た目で魅力が伝わりやすくするため、新パンフレットを作成する前段として、シーニック活動団体が、ルートの魅力（資源・景観（ビューポイント）・取り組みなど）について見直しを行い、ルート内の情報整理を行った。
- 【日時】 平成26年 9月24日 10月9日
- 【場所】 真駒内総合福祉センター 2階 会議室
- 【主催】 ルート運営代表者会議
- 【参加人数】 24名 17名

